

## 三岩岳2065m

M・T

期 日：9月27日 曇り時々晴れ

コース：国体コース5：11→最初の案内板7：21→最初の木道9：43→避難小屋9：51→  
1回目の木道9：43→2回目の木道10：06→3回目の木道10：51→三岩岳山頂  
11：14～40→避難小屋12：31→お地藏様13：01→最初の案内板13：58  
→国体登山口15：24

参加者：M・T

その他：標高差1308m

報 告：

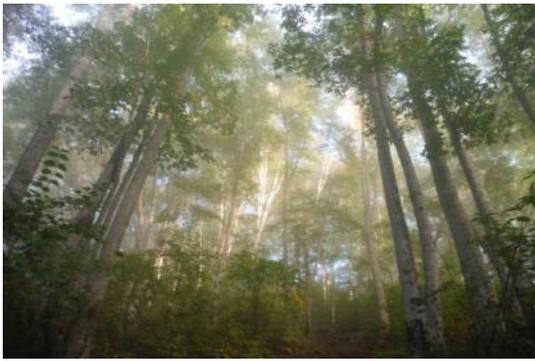


夜明け前の5：11分ヘッドランプを付けて出発。10分も歩けば夜が明けはじめると計算しながらいきなりの急な階段状の道を歩き出す。さすがに獣が怖いので笛を吹くために立ち止まり元気な曲をピーピーけたたましく吹いては歩く。木立の暗闇の中からほの白い夜明けが現れ出す。

夜は明けはじめると早い。ブナ林の歩きやすい道は清々しく何枚も何枚もブナ林の写真を撮る。



若い撫の木が多いと感じる。柔らかで気持ちがいい。晴れてもガスっていてもいい。



歩き出して2時間初めて三岩岳の姿が見える。写真左。

薄日も射してくる。7:00前青空も見えてくる。



旧道（国体コース）と新道（黒檜沢ルート）の合流点。沢ルートの新道はこちらも昨年9月の大雨

で登山道崩壊通行禁止。



樹林越しに会津の山々が顔を出す。





目指す山頂がはっきり目視出来る。  
何時の間にか柵は消え登山道脇には笹  
が茂り笹の中からオオシラビソの木が  
すくと立っている。1600m付近  
に立つお地藏様。



高層湿原が現れ木道が敷かれている。



池塘も有るが時期外れで花は無い。小  
さな水の流れの中を歩くようになると  
避難小屋が現れる、小屋の目の前に水  
が湧き出ているので利用しやすいと感  
じた。

しっかりした作りで中も綺麗になっていた。標高184  
0m位。





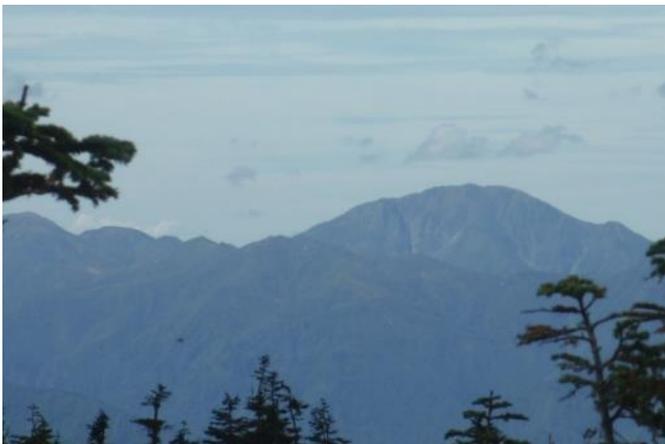
小屋の右斜め前に窓明山への分岐有り。コースタイムが書かれている。再び木道現れる。広々として気持ち良い。



11:14分やっと山頂到着。一人昼食を摂りのんびりしているとまさかの登山者。此方も向こうもびっくり。単独行同士写真を撮り合い山の説明を受ける。越後駒、中の岳方面との事。指呼しながら山名を教えてくれる。不思議で仕方ない。方向音痴バリバリ発揮。

山頂を譲り一足先に下山する。復路は朝来た道に戻る。窓明山方面へは今度としよう。

朝取れなかった登山道入り口の写真。



登り6時間下り4時間かけての山行だったが、総じて道は歩きやすく危険は少ない長距離登山だった。現在通行禁止の黒檜沢ルートはこの小豆スノウシェッド脇を登り真ん中あたりから鉄の階段を登り始まる。